

2018年12月21日 愛媛シニアクラブ 第18回定期総会を開催 活動方針、田中ひさや必勝決議
など確認

藤井正剛通信員

去る11月23日、JAM愛媛高齢者・退職者の会 第18回定期総会が全労済新居浜支所で、総勢27人参加のもと開かれた。

開会挨拶を前田副代表幹事、総会議長に井関退職者の会板楠氏を選出して進行。冒頭、森永代表幹事が挨拶の中で参院選に関し、9月にシニアの総会へのお出の際、安河内会長から、「現在はJAMの国会議員がゼロ、何としても田中ひさやをみなさまのお力で国会へ送って頂き、諸々の要求を反映して行きたい」旨の話があったことと・・・選挙区の永江孝子さんも含めてお願いしたい。当シニア組織の会員を増やす取り組みをはじめ活発な意見を出して頂きたい」などと訴えた。

次に来賓あいさつでは、JAMシニアクラブ豊泉副会長から、①組織拡大について、単組でJAMの運動を担ってきた元役員でまだシニアクラブになっていない人も多くいる、現役の協力を頂きながら会員拡大目標の実現を、と具体的な助言。②政策推進活動は、田中ひさやを当選させ国会に送ること。今回は基幹労連の25万組織の支援を受けておりシニアも含め中央から地方へと話し合いが進んでいることの紹介を含めた協力要請がされた。

次に愛媛退職者連合の織田事務局長、JAM愛媛地協の泉議長、全労済及び労働金庫新居浜の代表からそれぞれ連帯・激励の挨拶。寄せられたメッセージ（田中ひさや、白石洋一衆議院議員、永江孝子元衆議院議員、松井宏治・石川稔愛媛県議）の披露がなされた。

引き継ぎ議事に入り、2018年度活動経過と決算報告、監査報告、2019年度活動方針案と予算案・規約の一部改正（削減を含む）案などがいずれも賛成多数で決定された。

議事終了後、昼食も兼ねた懇親交流会を行い、無事終了することが出来た。

